

学校運営協議会 議事録

校名	府立 港 高等学校
校長名	浦山 聖

開催日時	令和5年11月15日（水） 15:30 ~ 17:00
開催場所	大阪府立 港 高等学校 1階会議室
委員	千葉 真也 委員 佐藤 美智 委員 吉田 景一 委員 中田 昌彦 委員 石井 力 委員 高良 章彦 委員
学校	校長 浦山 聖 教頭 宮城 良明 事務長 大河内 るり子 首席 内藤 亮一 首席 芦田 健 教務主任 加藤 学 生徒指導主事 早川 宏行 自治会顧問 宮地 耕介 保健主事 國見 滯 進路指導主事 廣江 邦昭 3学年主任 吉田 正勝 2学年主任 青野 和弘 1学年主任 稲田 和明 教育相談委員長 鳥居 友貴
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年、分掌マネジメント表 について</li> <li>・ 令和6年度使用教科書の採択結果 について</li> <li>・ スクールポリシーの承認 について</li> <li>・ 今年度の状況及び見えてきた課題 について</li> </ul>
備考	

議題等（次第順）

大阪府立港高等学校 令和5年度 第2回学校運営協議会

次 第

1 開会 (司会 教頭 宮城 良明)

2 校長挨拶 (校長 浦山 聖)

3 学校運営協議会委員紹介

4 報告

(1) 各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

- ① 教務部
- ② 生徒部 生徒指導
- ③ 生徒部 自治会
- ④ 生徒部 保健
- ⑤ 進路指導部
- ⑥ 総務部
- ⑦ 3学年
- ⑧ 2学年
- ⑨ 1学年
- ⑩ 教育相談委員会

(2) 令和6年度使用教科書の採択結果について

5 協議

- (1) スクールポリシーの承認について
- (2) 今年度の状況及び見えてきた課題について
- (3) その他

6 諸連絡

今後の協議会予定

令和5年度第3回 令和6年 2月 9日（金）15：30～

7 校長「閉会」の挨拶 (校長 浦山 聖)

報 告

（１）各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

① 教務部

- ・インフルエンザで学年閉鎖（修学旅行後翌週）が発生した。２学期終業式を授業日。
- ・授業の配信は数は少なくなっている（濃厚接触者の措置がなくなったことによる）。
- ・観点別評価はアンケートを実施し評価検討中。

② 生徒部 生徒指導

- ・改善傾向ではあるが、現時点で遅刻は前年度比１０％増。
- ・欠席が増えている。前年度３３００件だが現時点で３７００件、前年比２０％増。
- ・休むハードルがコロナ禍で低くなっていると考えられる。
- ・若い先生方のきもちが折れないよう、サポートしながら継続していきたい。

③ 生徒部 自治会

- ・コロナ以前の行事体制に戻しつつ、状況もコロナ以前に戻る方向で推移している。

④ 生徒部 保健

- ・各種検診が無事終了。治療勧告書の提出率が低い。
- ・保健室来室数が増加している。夏休み明けで多いと思われる。
- ・１１月に津波対応の避難訓練を実施予定。教職員の共通認識を深めていく。

⑤ 教育相談委員会

- ・週１回のペースで実施、学校全体で情報共有する視点で実施している。
- ・ＳＣに月１回来校いただき、生徒の心に寄り添ったアドバイスをいただいている。
- ・ＳＳＷの先生にも月１回来校いただき、３年生の受験指導など相談を受けている。

⑥ 進路指導部

- ・公募制推薦入試が始まりました。希望者が３４人と昨年度より減少。一般入試を考える生徒が増加していると考えます。
- ・高校３年生の数が少ないので、大学入試にはチャンスである。
- ・２年生の模擬試験の申込者が約１４０名（在籍の６割）と増加している。

⑦ 総務部

- ・図書館の本を借りる生徒が少ないため、各学年のフロアに移動図書館を設置した。
- ・ＰＴＡ活動では体育祭での飲料の提供活動が復活、生徒にも好評であった。
- ・広報活動として、学校説明会の参加希望人数が昨年度より増加しています。

⑧ 3学年

- ・指定校推薦希望者の減少は、公募制推薦や一般入試を考えているからと思われる。
- ・就職希望者（6名）は全員内定している。
- ・進路決定者の気が緩んでいる所がみられるが、周りを見てもうひと踏ん張りできるよう指導を継続していく。

⑨ 2学年・1学年・人権教育推進委員会は担当者が不在で資料を見ていただいた。

【質疑応答】

○印：学校運営協議委員会のご発言、ご意見      ●印：学校教員の発言、意見

○図書館業務について、SNSの発信はどなたがされていますか。

●担当の教員が行っている

○図書委員（生徒）の取り組みはどのようなものがありますか。

●おすすめ本の紹介について、図書だよりなどを通じて行っている。

○若い人の興味については、若い学生や生徒がよく知っているので本校の取り組みを参考にさせていただきます。

●（1年で）教室に入れない生徒、うろうろしている生徒はいませんか？

○そのような生徒はいません。

（2）令和6年度使用の教科書採択について

- ・資料に基づき説明。特に意見などはありませんでした。

協 議

（1）スクールポリシーの承認について（資料に基づいた説明の後）

【質疑応答】

○印：学校運営協議委員会のご発言、ご意見      ●印：学校教員の発言、意見

○改めて端的に言うと、スクールポリシーとは何ですか。

●スクールポリシーとは、スクールミッション（昨年度策定）を土台として、その上にあるアドミッションポリシー（求める生徒像）・グラデュエーションポリシー（学校が伸ばしていく資質や能力）・カリキュラムポリシー（高校生活で実践する学び）全体をさします。

○パフォーマンス課題とは何ですか。

●授業において、今までは知識を得るのみ。今後はその知識をどのように活かすのかという視点で、現実の課題に向き合い、学んだ知識を使って課題解決に向かうことで、学んだ内容を深く理解し、得た知識がどのように社会に活かせるのかを体験させるための課題。高校で学んだ知識が実生活でも役立っている事を実感させることも目的。

○課題解決型の学習ですが、英語や数学などでは学びの内容に個人差が出てきます。それを踏まえて一人ひとりをどう評価していくかが大きな課題です。言葉で説明するのは容易いが、実践になると途端に難しくなる。

●今まで、そういった課題解決型といわれる学習に取り組まれてきた先生には、実践もしやすいが、そういったことを経験したことがない先生には、教材研究・開発に多くの時間が必要となり、働き方改革の流れに反する場面も出ている。また、生徒たちの個別最適化を図るには、個人の躓いているところを見極める必要もあり、ここでも時間が必要となります。

○このような状態では、地域貢献や地域連携を授業の中で追及していくのは難しいですね。現状ではどのような地域連携が行われていますか。

●自治会中心に部活動も絡めて、ランニングパトロールがあると思いますが、全体へ広げていくところまでは行ってない。

○いろいろご意見をありがとうございます。スクールポリシーについて、内容や語句の変更についてご意見がございませんので、この内容で進めさせていただきたいと思います。

## （２）今年度の状況及び見えてきた課題について

### 報告内容（抜粋）

- ・来年度募集人員が7クラス 280名（40名増）となった。
- ・しかし人事面では厳しい状況があり、短時間勤務の教員が定数40名の中で9名になる。（1/4の教員が15時以降いない状態で、生徒指導をしなければならない）
- ・公務運営の効率化は進んでいるが、スケジュール共有をもう少し進めていきたい。
- ・働き方改革の関係で、勤務時間外の電話については留守番電話対応にした。
- ・新しいプロジェクターは非常に見やすく、授業活用が進むのではないかとと思われる。

### 次回の会議日程

日 時	令和6年2月9日（金） 15：30からの予定
会 場	大阪府立港高等学校 会議室